

平成30年度 ジュニア・ジュエリーマスター学科試験問題

問1 次の日本の宝飾史に関する各文を読み、正しいものには○を、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) 縄文時代では、青銅を加工することはできなかった。
- (2) 弥生時代では、碧玉や硬玉を加工して勾玉を作ることはできなかった。
- (3) 古墳時代では、石訓、車輪石、鋏形石などの硬玉製の腕輪が作られていた。
- (4) 飛鳥・奈良時代では、生活の中から装身具が消えていった。
- (5) 明治時代では、洋装に合わせた装身具を国内で製作することはできなかった。

問2 次のマネジメントに関する各文を読み、(a)～(e)内に最もあてはまる語句を(ア)～(コ)の中から1つ選び記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 作業管理の5Sとは「整理」、「( a )」「清掃」、「( b )」、「しつけ」のことである。
- (2) QCDとは、Q=「( c )」、C=「原価」、D=「( d )」のことである。
- (3) 生産の4Mとは「人」、「( e )」、「設備」、「方法」のことである。

(ア) 納期 (イ) 連絡 (ウ) 販売 (エ) 清潔 (オ) 組織  
(カ) 市場 (キ) 管理 (ク) 品質 (ケ) 資材 (コ) 整頓

問3 次の生産と流通に関する各文を読み、正しいものには○を、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) 消費者の求める「モノ」や「コト」のことを「ニーズ」と呼ぶ。
- (2) 流通経路のことを「マーケティング」と呼ぶ。
- (3) PL法とは製造物責任法のことである。
- (4) 産業財産権は特許権、意匠権の2種類によって構成されている。
- (5) 顧客にとってどのような製品が必要かを予測して生産することを「受注生産」と呼ぶ。
- (6) 一定の商品群に対し、商品の品質を特定する銘柄を「ブランド」と呼ぶ。

問4 次の宝石に関する各文を読み( )内に最も当てはまる語句を(ア)～(エ)の中から1つ選び記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 宝石には、「( )」と呼ばれる一方向に割れやすい性質を持つものがあるので、取り扱いに注意する必要がある。

(ア) 劈開 (イ) 酸化 (ウ) 反射 (エ) 衝撃

- (2) 次の宝石のうちピンク色の石は( )である。

- (ア) アクアマリン (イ) タンザナイト (ウ) シトリン (エ) クンツァイト
- (3) 宝石の原石は、屈折や光学的特殊効果などの方向性を考慮して、それぞれ特性を引き出すように石取りを行う。この石取りの方向のことを「( ) 方向」と呼ぶ。
- (ア) シンチレーション (イ) オリエンテーション (ウ) プロポーション  
(エ) ファセット
- (4) カボションカットされたスター・ルビーの場合、理想的にカットされていれば、光を当てた時に ( ) 条のスターが見られる。
- (ア) 3 (イ) 4 (ウ) 6 (エ) 8
- (5) ダイヤモンドには 4C と呼ばれる国際的な評価方法がある。その評価項目は ( ) の 4 項目である。
- (ア) カラー、カット、センター、クラリティ  
(イ) カラー、カット、カラット、クラリティ  
(ウ) カラー、クラウン、カラット、クラリティ  
(エ) カラー、カーボン、カット、クラリティ
- (6) ダイヤモンドの瑕（きず）の程度を判別する際に使用するルーペは、( ) 倍のものを使用する。
- (ア) 5 (イ) 10 (ウ) 20 (エ) 100
- (7) 宝石は、生成起源により天然石と人工生産物に分類され、人工生産物は、( )、人造石、模造石に分類される。
- (ア) 合成石 (イ) 色石 (ウ) 透明石 (エ) 類似石
- (8) 以下の宝石のうち、水晶（モース硬度 7）よりも硬度の低い（軟らかい）石は ( ) である。
- (ア) サファイア (イ) スピネル (ウ) フルオライト (エ) トパーズ
- (9) ブリリアントカットされたダイヤモンドのガードルより上の部分をクラウンと呼び、ガードルより下の部分を「( )」と呼ぶ。
- (ア) パビリオン (イ) テーブル (ウ) カット (エ) キューレット
- (10) 以下の『 』内の文章には、ある石の特徴を挙げてある。
- 『モース硬度は 7 である。一般に淡黄色～黄褐色の色相で、天然の色相もあるが、近年では同じ宝石種の紫色変種を熱処理して濃い黄褐色石を得ている。』
- この石の名称は ( ) である。
- (ア) イエローベリル (イ) シトリン (ウ) インペリアルトパーズ  
(エ) クリソベリル

問5 次の貴金属・加工に関する各文を読み、正しい記述を記号（ア）～（オ）から選択し、解答欄にすべて記入しなさい。

（1）

- （ア） プラチナの日本語表記は「白金」である。
- （イ） K18 は 58.5%が純金である。
- （ウ） 純銀は金属の中で最も熱伝導率が低い。
- （エ） 銀 925‰に銅 75‰を加えた合金を「ジャーマンシルバー」と呼ぶ。
- （オ） 純銀の比重は 10.5 である。

（2）

- （ア） 鋳造とは溶融した金属を、型に流し込む製法である。
- （イ） 焼き入れとは、鋼材を一定の温度まで加熱した後、徐冷することで硬化又は強度を減少させる操作である。
- （ウ） ローラーは金属を板状、棒状、線状等に圧延加工するための道具である。
- （エ） 3/0 のノコ刃は、刃の細さ、厚み、幅が 6/0 より小さい。
- （オ） バッファーによる磨き作業（バフがけ）では、地金の種類や形、磨く順番により研磨材とバフの組み合わせ、回転速度の調整を行う。

問6 次の商品に関する各文を読み、最もあてはまるものを（ア）～（エ）の中から1つ選び記号を解答欄に記入しなさい。

（1）イヤリングは広義では耳に装着する装身具のことで、狭義ではクリップや「（ ）式」で耳を挟んで留めるタイプのものを指す。

- （ア） 風車   （イ） 鉄砲   （ウ） ボタン   （エ） ネジ

（2） 次のパール・ネックレスの長さについて、最も短いものは（ ）である。

- （ア） プリンセス   （イ） オペラ   （ウ） チョーカー   （エ） マチネ

問7 次のデザインに関する各文を読み、正しいものには○を、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- （1） 色相環図のうち反対の位置にある色を「原色」と呼ぶ。
- （2） コンピューターを利用した設計を「CAD」と呼ぶ。
- （3） 「レンダリング」は商品の完成イメージを伝えるために描かれる。
- （4） 3点透視図法では消失点は1つである。
- （5） 黄金比率は[1：1.618・・・]となる比率である。

問8 次の宝石加工に関する各文を読み、( )に最も当てはまる語句を(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 宝石に彫刻加工を施す際に使う機械を「( )」と呼ぶ。  
(ア) ファセッター (イ) ダイヤモンドディスク (ウ) 細工台 (エ) 汎用旋盤
- (2) 劈開とは宝石がある一定の方向に( )性質のことである。  
(ア) 曲がりやすい (イ) 研削しやすい (ウ) 割れやすい (エ) 溶けやすい
- (3) コランダムのもース硬度は9であるので研磨材は( )で行う必要がある。  
(ア) コランダムパウダー (イ) ダイヤモンド (ウ) ホワイトアランダム  
(エ) カーボランダム
- (4) 研磨砥石は「砥粒」、「空孔」、「( )」の3つの要素で構成されている。  
(ア) 洗浄液 (イ) バレル (ウ) 研削液 (エ) 結合剤
- (5) 宝石素材を切断するための機械は( )である。  
(ア) トリムソー (イ) 平面研磨機 (ウ) プレス機 (エ) 超音波加工機
- (6) 超音波洗浄器を使用する際に特に注意が必要な宝石は( )である。  
(ア) ルビー (イ) エメラルド (ウ) ダイヤモンド (エ) 翡翠

問9 次の貴金属加工に関する各文を読み、( )内に最も当てはまる語句を(ア)～(エ)の中から一つ選び、記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ロウ付けで使われるフラックスの役割は( )、表面の清浄化、ぬれ性の向上の3つである。  
(ア) 加熱 (イ) 冷却 (ウ) 酸化 (エ) 空気遮断
- (2) 貴金属の酸化や硫化による皮膜を酸性の溶液で除去することを「( )洗い」と呼ぶ。  
(ア) アルカリ (イ) 酸 (ウ) 小豆 (エ) 超音波
- (3) 接合の作業は主に「( )」「共付け」「かしめ」の3種類である。  
(ア) 編み込み (イ) 圧延 (ウ) 炭研ぎ (エ) ロウ付け

(4) ヤスリがけや地金取りの際に出る貴金属のクズは回収し、再利用のための( )  
を行う。

(ア) 彫金 (イ) 精錬 (ウ) 鍛錬 (エ) 精査

(5) 可燃性ガス及び酸素を使用して行う金属の溶接、溶断、加熱の作業に就く場合は、  
登録教習機関が実施する「ガス( )技能講習」を修了した者でなければならない。

(ア) 抜き (イ) バーナー (ウ) 溶接 (エ) 溶断

(6) ものを切断する方法には「裂く」と「( )」の二種類がある。

(ア) 削る (イ) 曲げる (ウ) 深淵 (エ) 混ぜる

平成30年度 ジュニア・ジュエリーマスター学科試験解答

問1					問2				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
○	×	○	○	×	コ	エ	ク	ア	ケ
問3									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)				
○	×	○	×	×	○				
問4									

※問2の(a)、(b)は順不同

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
ア	エ	イ	ウ	イ	イ	ア	ウ	ア	イ
問5						問6			
(1)			(2)			(1)	(2)		
ア、オ			ア、ウ、オ			エ	ウ		
問7									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)					
×	○	○	×	○					
問8									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)				
ウ	ウ	イ	エ	ア	イ				
問9									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)				
エ	イ	エ	イ	ウ	ア				

受験番号	
------	--

得点